



2026年6月期 通期決算説明資料

グリーンモンスター株式会社

証券コード：157A （東証グロース市場）

2026年8月14日

01 エグゼクティブサマリー	03
02 カンパニーハイライト	09
03 26/6期 通期決算概要	19
04 27/6期 通期計画	28
05 業績および主要KPIの推移(Fact Book)	30

01

エグゼクティブサマリー



資産形成支援事業

- ① グループ全体で**増収基調が継続**。
- ② **M&Aにより累計3社（FPC・FFC・FI）を取得**し、各社のPMIも着実に進行。
- ③ 契約者数・受注高などKPIベースでの管理体制を整備し、**グループとしてのM&A実行ノウハウが蓄積**された1年となった。

体験型投資学習事業

- ① アプリの追加開発により**ユーザー体験・満足度が向上**。
- ② 一方で、事業収益の面ではビジネスモデル上の**構造的課題が残り、苦戦が継続**。

アプリ別の状況



苦戦



好調

金融AI及び ブロックチェーン・ インフラストラクチャー 事業

- ① 役員体制など事業運営に必要な**組織基盤を構築**。
- ② 香港子会社の設立など**海外拠点の整備**に着手し、金融AI・ブロックチェーン決済領域の技術を調査・検証、**ファイナンスのリリース**などを実施。

27/6期以降の取り組みの方向性

企業価値の最大化

① 安定収益基盤の強化

資産形成支援事業



非連続的な成長と
グループシナジーの追求

安定的なキャッシュ創出

② 利益の最大化と効率化

体験型投資学習事業



効率的な投下資本配分による
利益回復とユーザー基盤の最大化

ユーザー基盤の最大化

③ 将来の成長エンジンへの投資

金融AI及びブロックチェーン・ インフラストラクチャー事業



28/6期以降の
本格的な収益貢献を想定

将来の成長オプションの確立

時間軸の イメージ

27/6期

調達資金や利益を原資に、金融AI及びブロックチェーン・インフラストラクチャー事業への積極投資を実行

28/6期

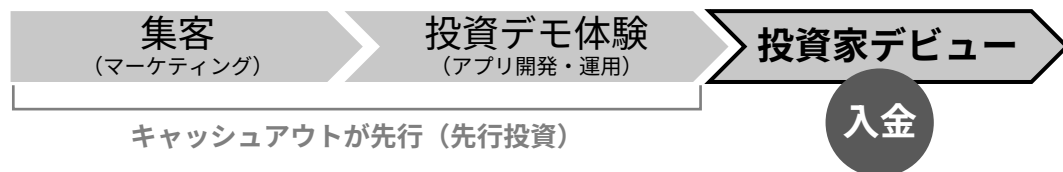
金融AI及びブロックチェーン・インフラストラクチャー事業の**本格収益化により、さらなる成長ステージへ**

グループ全体のキャッシュ・コンバージョン・サイクルを転換

P/Lを中心とした経営から、Cashを中心とした経営・ビジネスモデルに改善が続く。
資産形成支援事業を中心に、グループ全体のCCC（Cash Conversion Cycle）の構造に改善傾向。

ビジネスモデルは、キャッシュフローモデルが改善傾向

Before サービス提供“完了後”の資金回収



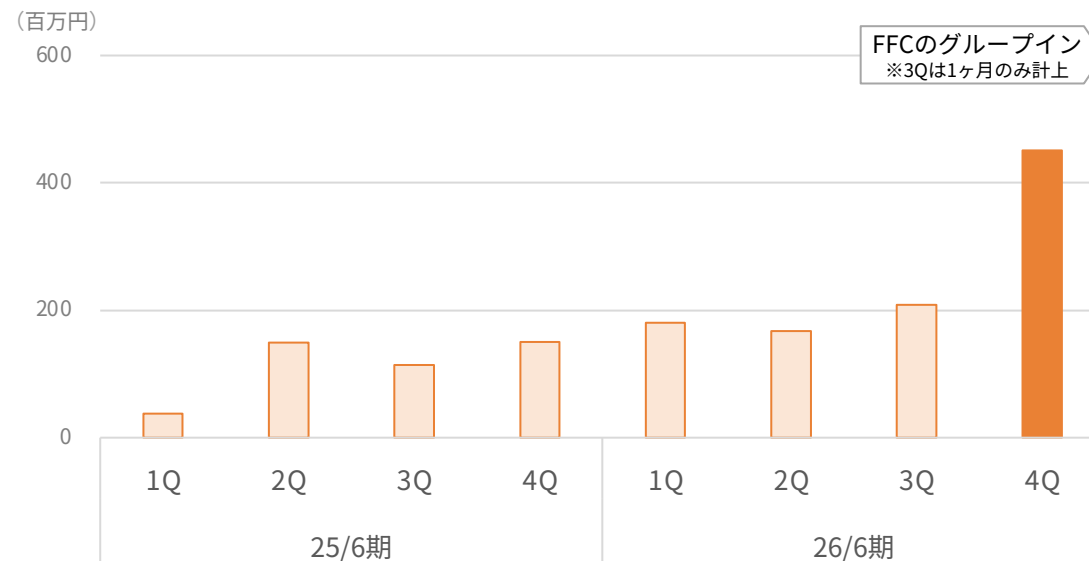
After サービス提供“前”の資金回収 (資産形成事業中心)



受注残高を順次売上化しCCCを短期化

資産形成支援事業の受注高

入金は先行して受注高として積み上がるが、
売上高としての計上は緩やかに進む



M&A実績



Financial Intelligence
ファイナンシャルインテリジェンス



Financial Free College



さらに拡大予定

3社のM&Aを通じてノウハウが蓄積

- ターゲットのスクリーニング、検討ポイント
- デューデリジェンスに関するノウハウ
- PMIプロセスのパタン化

取り組みと成果



広告に頼らないコラボ集客が拡大



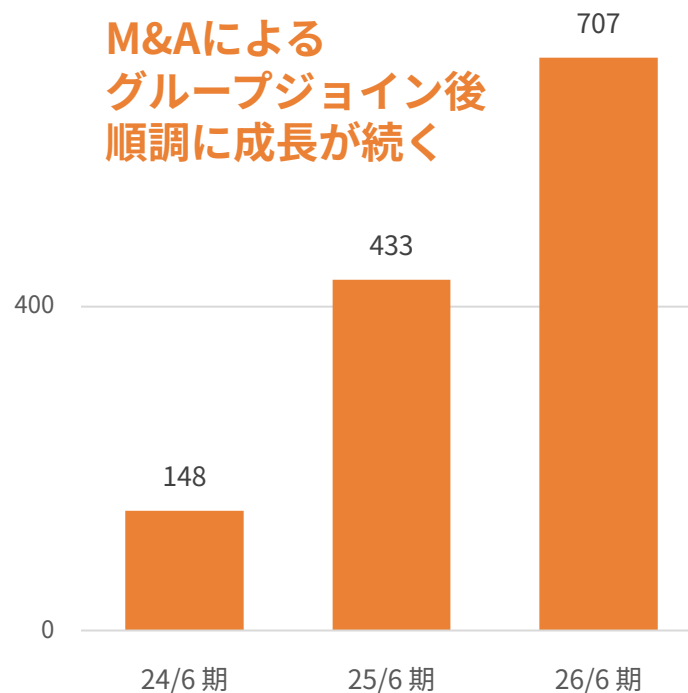
PMIの進展によりシナジー効果



セミナー起点契約など拡大

資産形成事業 売上高推移

(百万円)



M&Aによる
グループジョイン後
順調に成長が続く

蓄積したノウハウを活かし

M&A戦略による 次の成長へ挑戦

- 案件規模の大型化も含め検討
- これまでの顧客基盤など非財務アセットを活用した事業領域の拡大
- PMIのレベルアップにより、企業価値の最大化に挑戦する

26/6期 サマリー

売上高

1,921 百万円 YoY Δ 4.3%

営業損失

Δ **276** 百万円 YoY —

学ぶ

体験型投資学習事業

- 株分野は引き続き好調。株たすが過去最高売上を更新。ユーザー獲得も進み、株プレの特許も取得。
- FX分野はユーザー体験の向上など進めるものの、広告市場の変化など外部環境変化もあり苦戦が続く。

実践

資産形成支援事業

- 前期比で63.3%増収となり、引き続きM&Aした子会社の**成長トレンドが継続**。
- グループジョインしたFinancial Free College社（FFC社）の連結取込み開始。26/6期では、4ヶ月分のみの計上。

トピックス

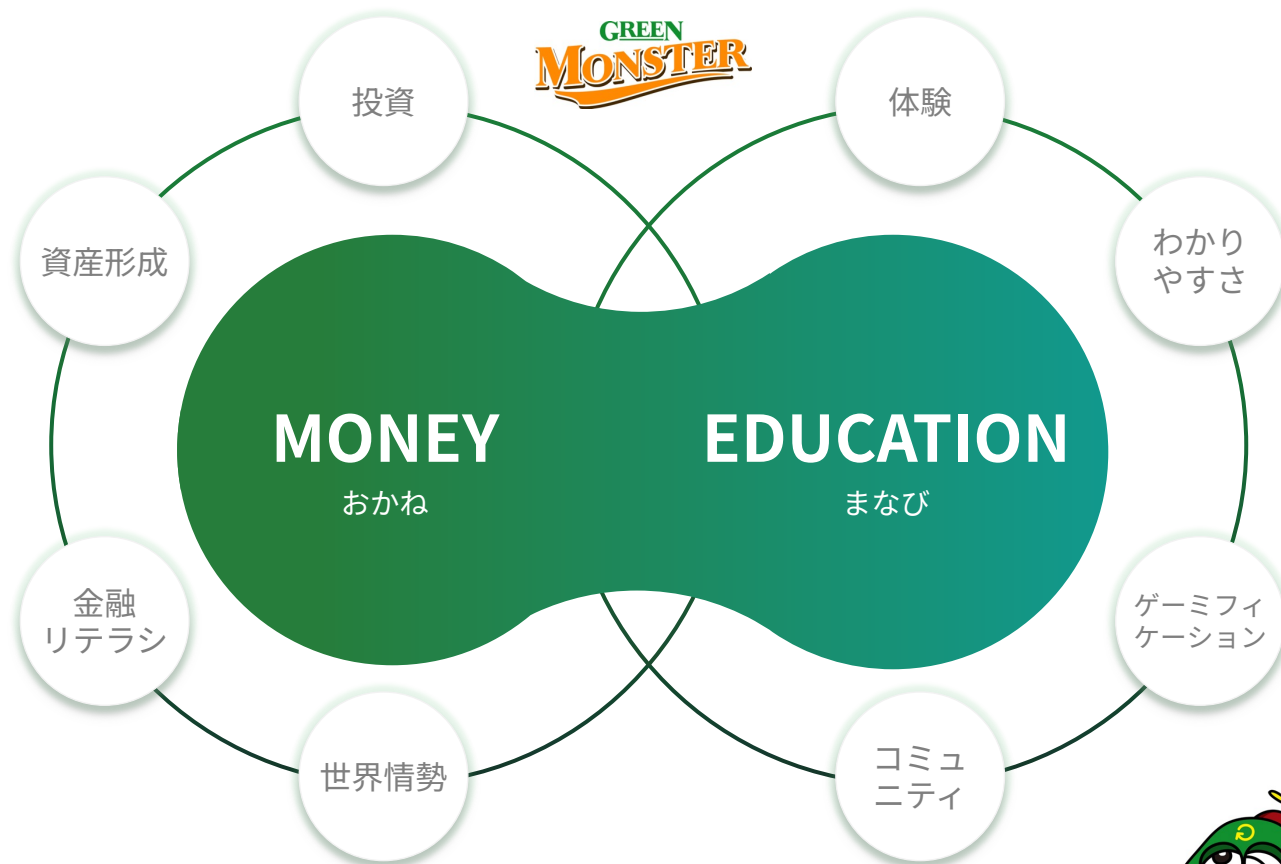
- AI・ブロックチェーン投資、香港拠点の構築・運営、次世代金融教育事業への投資、その他AI事業への投資などを目的とし、資金調達を実施。
- 実践型金融プログラム「株プレ」に関する投資支援システムに関する特許を取得。

02

カンパニーハイライト



おかねに対する 意識と行動を変える



会社名	グリーンモンスター株式会社
所在地	東京都渋谷区神南一丁目4番9号
設立年月	2013年7月
資本金	4,537万円 (2026年6月30日時点)
従業員数	単体：35名 連結：44名(2026年6月30日時点)
関連会社	株式会社ファイナンシャルインテリジェンス(100%子会社) 株式会社 Financial Free College(100%子会社) 株式会社FPコンサルティング(100%子会社)
加盟団体	一般社団法人 日本経済団体連合会(経団連) 金融教育の未来を創る企業連合会
決算期	6月

これから

金融AI及びブロック
チェーン・インフラ
ストラクチャー事業

体験型投資学習事業に加え、
資産形成支援事業、金融AI及び
ブロックチェーン・インフラストラクチャー
事業で複層的な成長基盤を構築し、
成長を加速

資産形成支援事業

体験型投資学習事業

2013年

2024年3月

IPO

現在

主力事業の構成

当社は**投資学習支援事業**を展開し、「体験型投資学習事業」と「資産形成支援事業」の2つで構成される。
提供している投資学習アプリは2026年6月末時点で累計1,080万ダウンロードを突破した。

事業区分

サービス概要

売上構成比（事業区分別）

投資学習支援事業

① 体験型投資学習事業



FXなび

初心者向けに特化した体験型FX学習アプリ。為替取引の基本から実践的なトレードまでをアニメーションやクイズ形式で学べる。ユーザーが「遊びながら学べる」設計により、幅広い層のリテラシー向上に寄与。

株たす

仮想資金による株取引を通じて、日本および米国株投資の基礎～応用を疑似体験できるアプリ。株価の変動要因や企業分析の考え方を、実際の銘柄を通じて学習可能。中高生や若年層を中心に利用が拡大中。

ファイナンシャルインテリジェンス社

24年8月 グループイン

個人向けに株式投資やFX投資の実践的なスキル習得講座を提供。「投資の学校プレミアム」は累計15万人が受講。

Financial Free College社

26年2月 グループイン

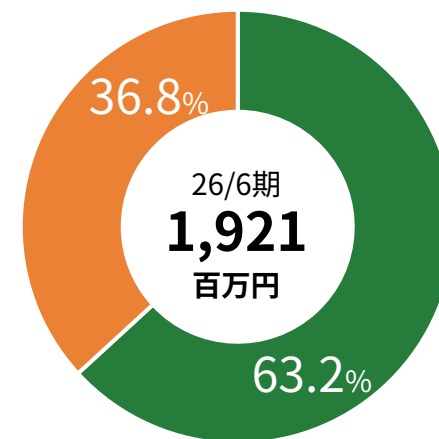
個人向けに株式投資の実践的なスキル習得講座を提供。累計受講者数6,000人以上。

FPコンサルティング社

23年1月 グループイン

金融商品販売を前提とせず中立的な立場で資産形成を支援。大手企業の労働組合をターゲットとしたB2B2Eモデルで、個社毎にカスタマイズしたセミナー・個別相談が可能。

② 資産形成支援事業



体験型投資学習 1,213百万円

資産形成支援 707百万円

※報告セグメントに含まれない「その他」は広告代理業を行っており、売上も僅少であるため説明対象から除外しています。

※譲渡したブラックモンスターの財務数値は「体験型投資学習事業」に第2四半期まで含めております。

1 体験型投資学習事業 | 事業内容

老後2,000万円不足問題解消からFIRE支援まで、FXや株式投資を体験型で学習できるアプリを運営している。
リアルタイムの為替データや株価をもとに、実践的な取引体験ができることが特徴である。

アプリ一覧



本格FXチャートの投資シミュレーション体験

初心者でも簡単にFXゲームで練習できるアプリ。
リアルタイムな為替データを元にバーチャルで投資スタイルを検証できるアプリ。



リアル株価の株式投資シミュレーション体験

日米7,000銘柄以上に対応したリアルな株価で個別株投資体験ができるアプリ。

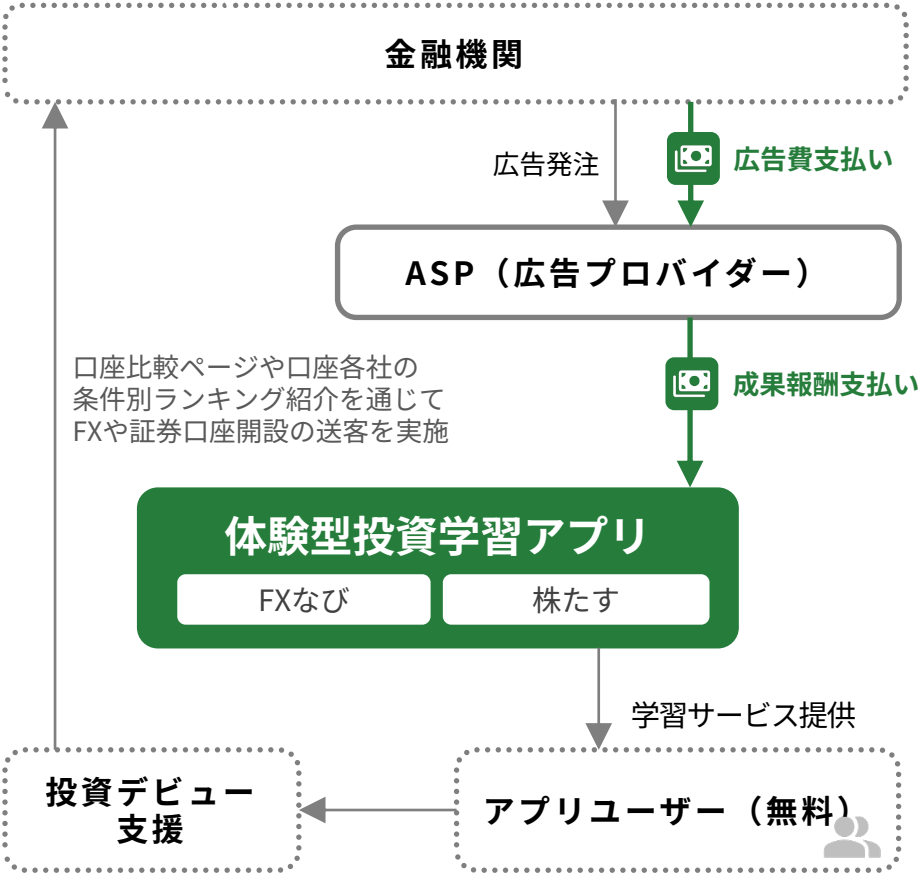


NISA & iDeCoの投資シミュレーション体験

毎月〇円ずつ、〇年つみたてるといくら貯まる？がすぐにわかる資産運用のシミュレーション体験ができるアプリ。



日本能率協会マネジメントセンターとの共同開発「NISAとiDeCo資産運用アドバンス」受講者専用アプリ。



① 体験型投資学習事業 | 累計ダウンロード数

”投資デビュー支援数”の先行指標として”アプリダウンロード数”の増加に取り組んでいる。
 累計ダウンロード数は、1,080万超のダウンロード。



アプリDL数1,080万超の背景

体験型で直感・実践的に
 学べる設計

SNSや動画アプリを
 中心とした
 マーケティング戦略

2 資産形成支援事業 | 株式会社ファイナンシャルインテリジェンス

株式会社ファイナンシャルインテリジェンスは、初心者向けの投資教育やシニア向け金融リテラシー向上支援を行うサービスを提供。

24年8月グループイン

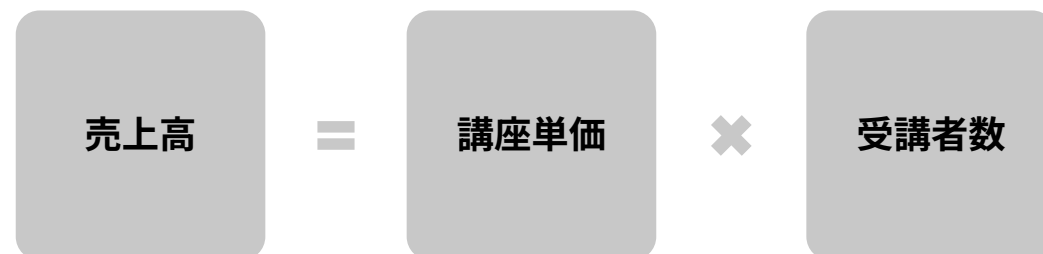
● ビジネスモデル



● 事業の特徴

初心者から上級者まで、実践的な投資スキルと多様な金融商品の知識を体系的に提供する点が特徴。特にテクニカル分析に関する教育コンテンツを中心に、専門家による継続的なサポート体制は、独学では難しい市場の変化への対応力や、長期的な投資家としての成長を後押しする最大の魅力。YoutubeなどSNSを通じて認知向上や集客を行う。

● 収益構造



2 資産形成支援事業 | 株式会社Financial Free College

株式会社Financial Free Collegeは、主に個人向けに投資スクール事業として、投資のノウハウや教育コンテンツを提供。

26年2月グループイン

● ビジネスモデル

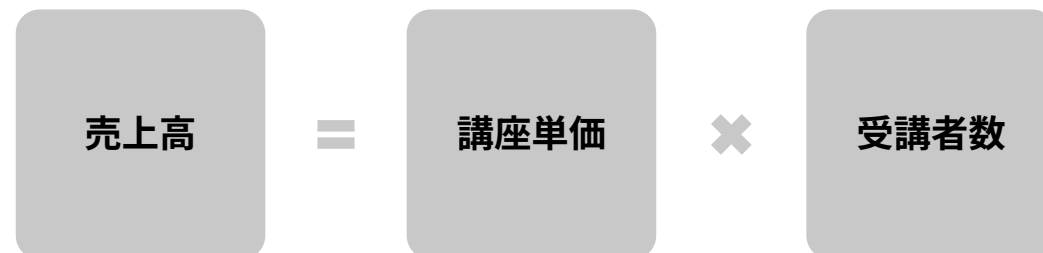


● 事業の特徴

初心者から上級者まで、実践的な投資スキルと多様な金融商品の知識を体系的に提供する点が特徴。ファンダメンタルズ分析を中心にした教育コンテンツを提供。

YoutubeなどSNSを通じて認知向上や集客を行う。

● 収益構造



2 資産形成支援事業 | 株式会社FPコンサルティング

株式会社FPコンサルティングは、個人・法人向けに総合的なライフプランニングや専門家による資産形成のアドバイスを行うコンサルティングサービスを提供。

23年1月グループイン

● ビジネスモデル



● 事業の特徴

企業と顧問契約を結んだ上で、その職員や会員に金融教育や個別相談サービスを提供する、BtoBtoE型ビジネスモデルが事業の核。多様な専門家ネットワークを駆使した中立的なアドバイスを武器に、顧客（企業と個人）との長期的な信頼関係を構築する点が特徴。

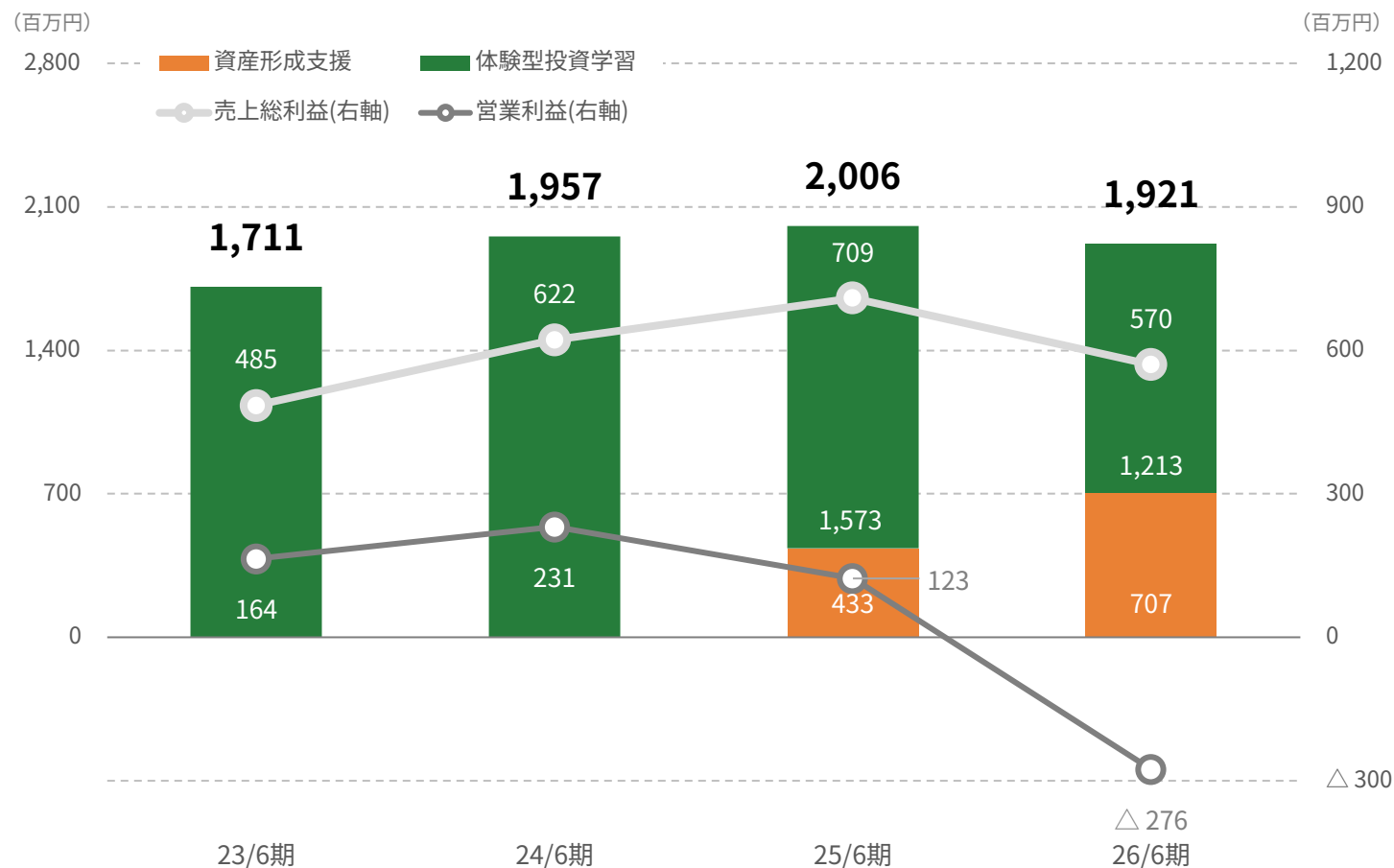
● 収益構造



財務ハイライト



25/6期より開始した資産形成支援事業は、売上高・売上総利益の双方において成長トレンドで、全体を牽引している。体験型投資学習事業は、苦戦が続く。



売上高

1,921百万円

(26/6期の実績)

資産形成支援の比率

36.8%

(26/6期の実績)

売上総利益CAGR

+5.5%

(23/6期～26/6期の実績)

営業利益

△276百万円

(26/6期の実績)

Net Cash

750百万円

(26/6期の実績)

自己資本比率

51.9%

(26/6期末時点)

03

26/6期通期 決算概要



2026年6月期 第4四半期業績サマリー（連結）



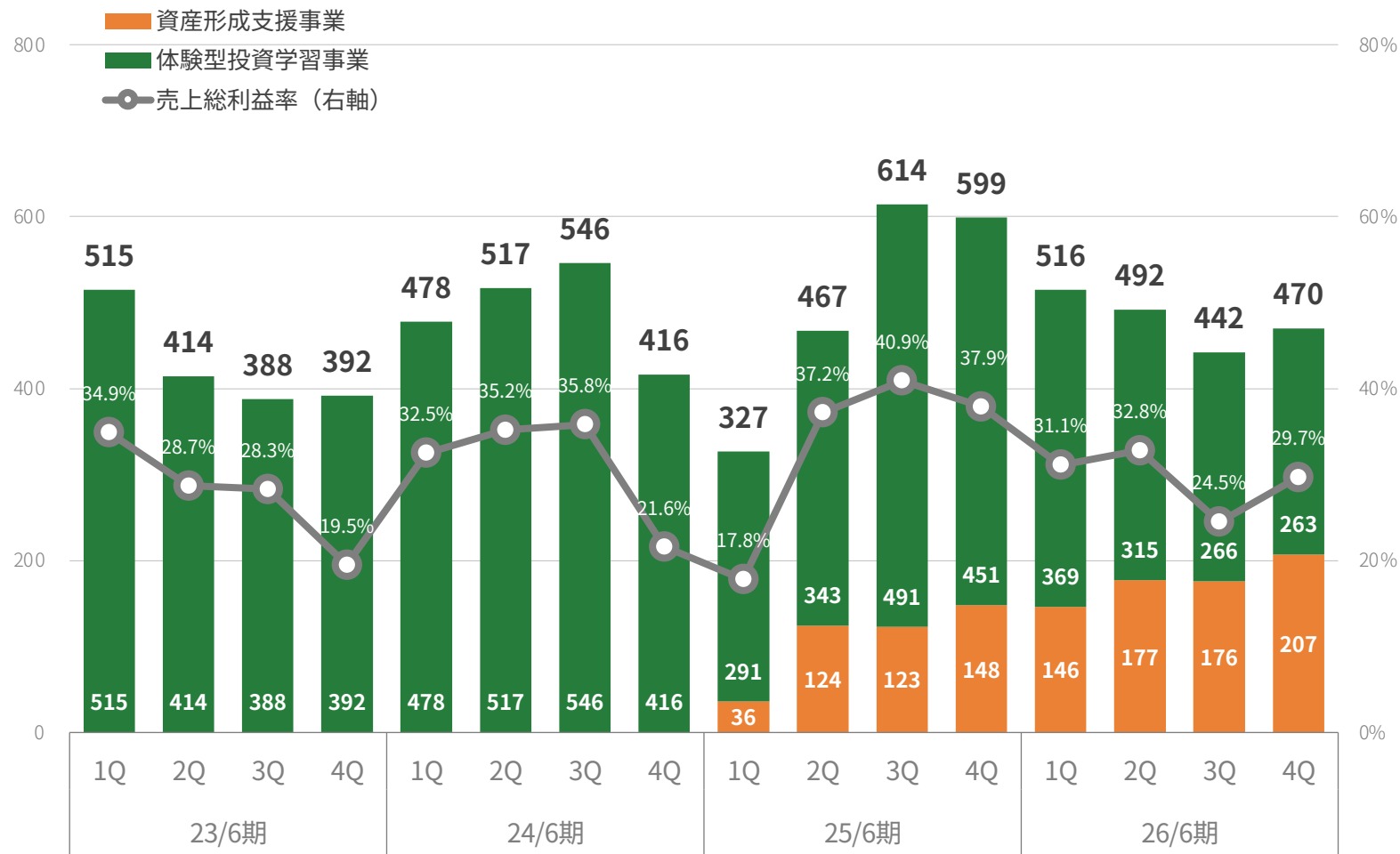
資産形成支援事業はYoY+63.3%と成長を牽引した一方、体験型投資学習事業は株たす好調もFXなびの抑制が響き、全体ではYoY△22.9%となった。4Q単独の営業キャッシュフローは黒字であり、P/L以上に財務面は底堅い。

(百万円)	26/6期4Q 四半期 (26年4月-6月) 実績	増減率	26/6期 通期 実績	増減率	過去実績	
		QoQ (前四半期比)		YoY (前年同期比)	26/6期3Q 四半期 (前四半期)	25/6期 通期 (前年同期)
売上高	470	+6.3%	1,921	△4.3%	442	2,006
└ 体験型投資学習事業	263	△1.1%	1,213	△22.9%	266	1,573
└ 資産形成支援事業	207	+18.3%	707	+63.3%	175	433
売上総利益	139	+28.7%	570	△19.7%	108	709
EBITDA	△139	-	△210	-	△66	173
営業損失 (△)	△162	-	△276	-	△82	123
営業利益率	-	-	-	-	-	6.1%
経常損失 (△)	△144	-	△273	-	△80	125
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)	△250	-	△375	-	△55	32

全体 | 売上高・売上総利益率（四半期推移）



(百万円)



● 26/6期4Q（26年4月-6月）実績

売上高

売上総利益率

470百万円 **29.7**%

YoY Δ **21.5**%

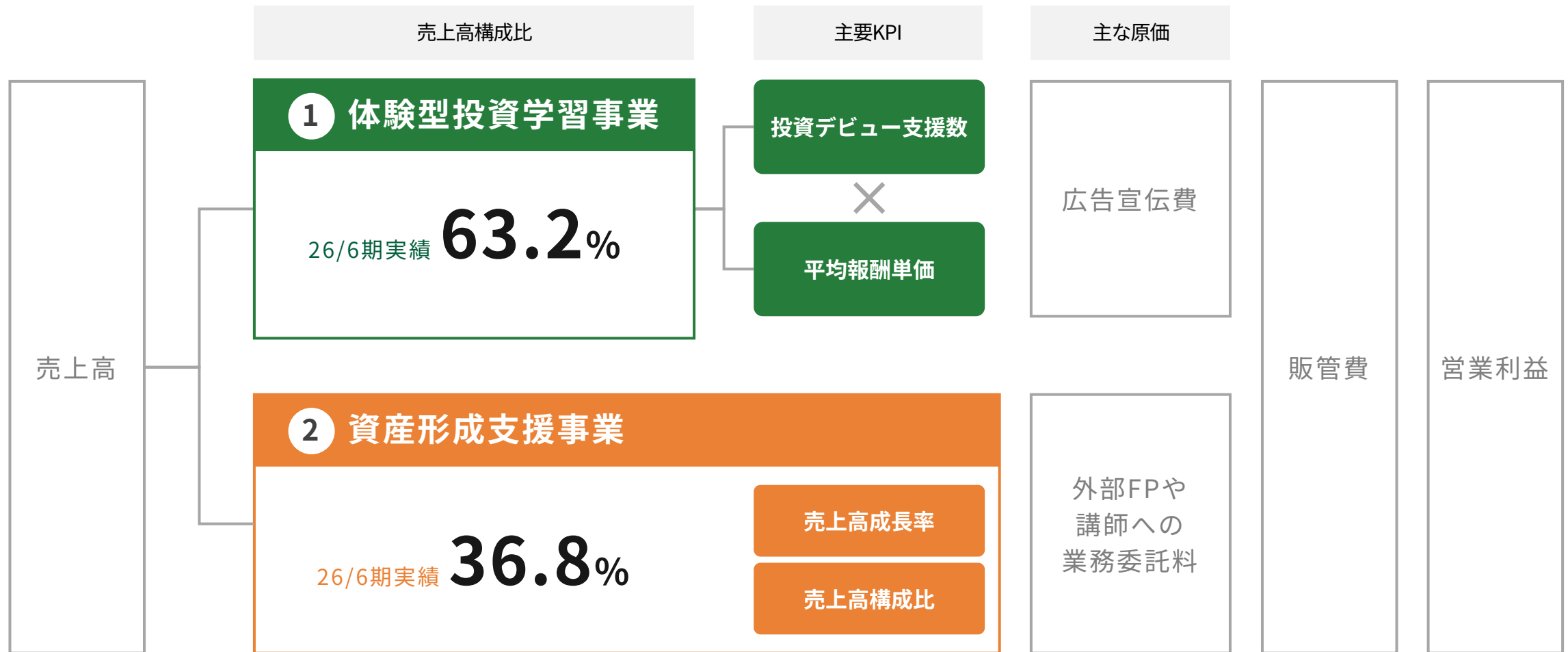
YoY Δ **8.2**pt

資産形成支援事業はFFC社を取り込み、成長トレンドが継続。

主力の体験型投資学習事業は、獲得効率が悪化しているため、数を抑制している。

売上総利益率は、29.7%に回復。

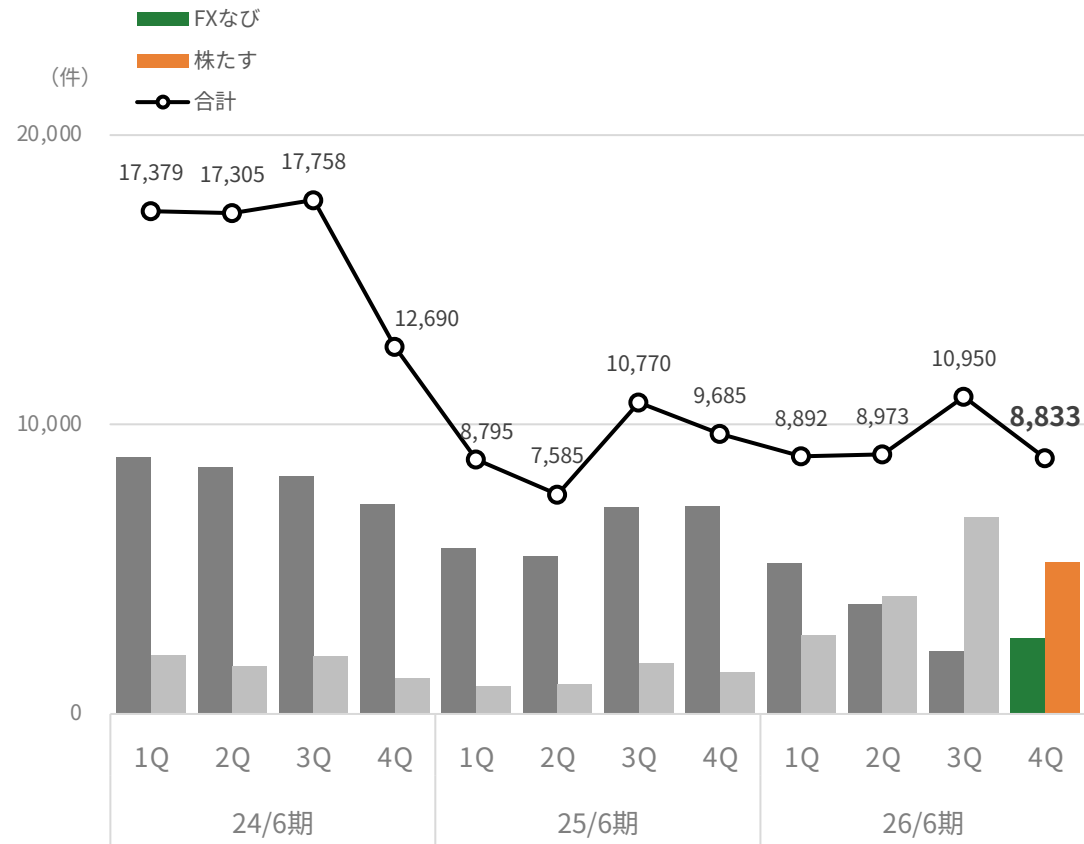
全体の売上高に対する資産形成支援事業の割合が増えることで、安定的な収益基盤の構築が進みつつある。



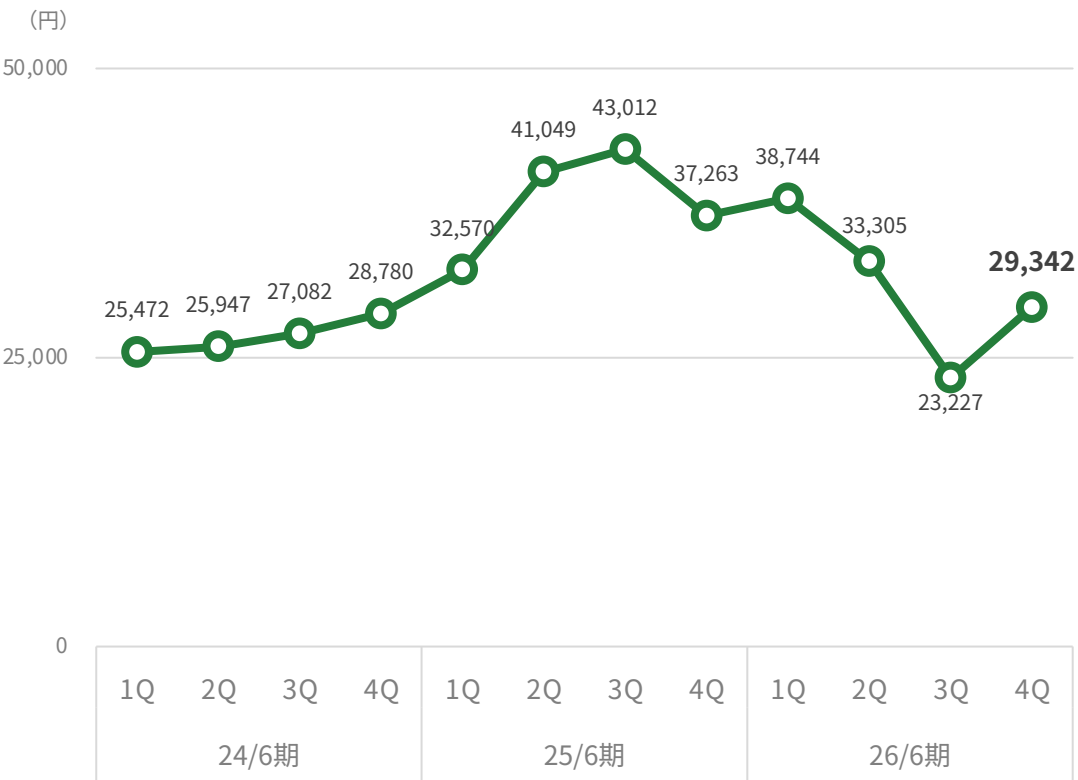
1 体験型投資学習事業 | 主要KPI

投資デビュー支援数は8,833件。平均報酬単価は29,342円。FXなびと株たすの構成比の関係で、平均報酬単価は回復したものの、投資デビュー支援数は横ばい圏で推移している。

投資デビュー支援数



平均報酬単価 ※1



※1 平均報酬単価は、複数の体験型投資学習アプリを合わせた平均となっております。各アプリごとに報酬単価は異なることから、アプリごとの投資デビュー支援数の比率にも影響を受けます。

1 体験型投資学習事業 | 主要アプリの売上高の四半期推移

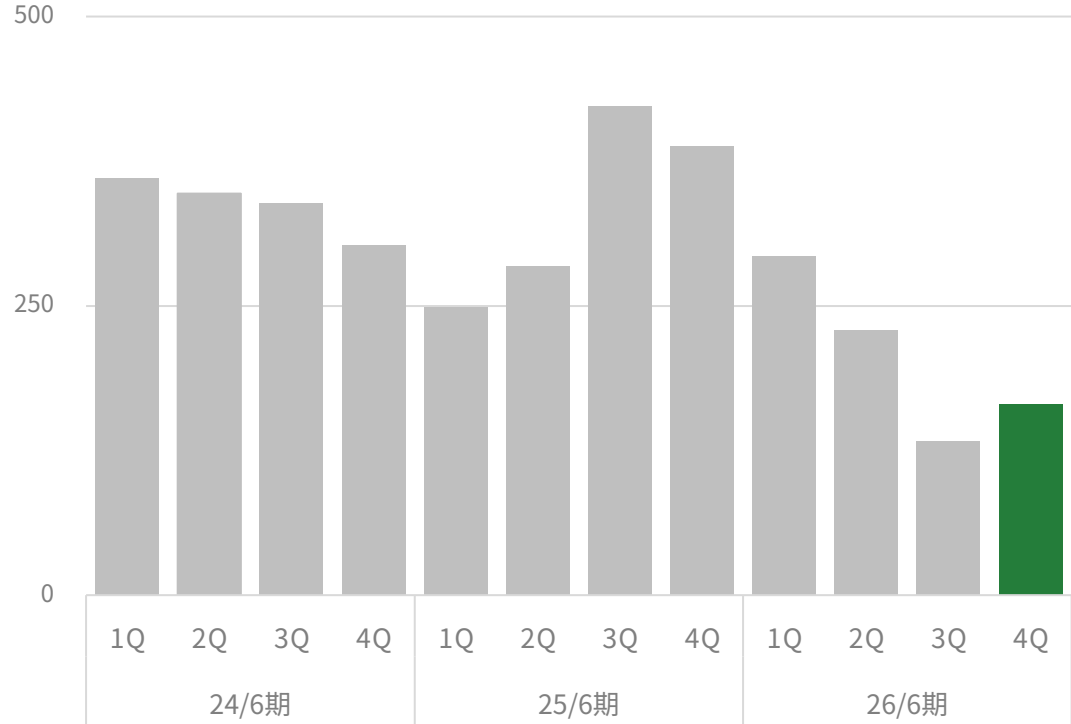
全体的に低位な推移が続く中、損失を広げないことを重視しコストコントロールを行っている。積極的な拡大を目指した広告運用から、効率重視の方針に切り替えているなか、売上高は横ばい圏での推移が続く。



26/6期4Q（26年4月-6月）実績

売上高 **165** 百万円

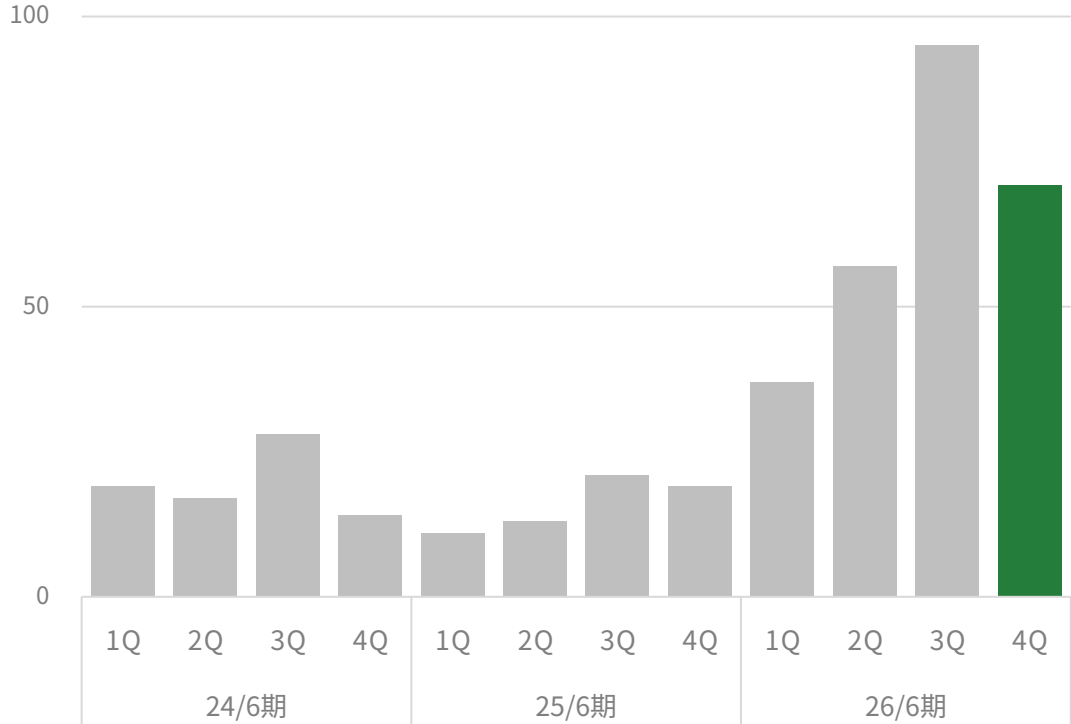
(百万円)



26/6期4Q（26年4月-6月）実績

売上高 **71** 百万円

(百万円)



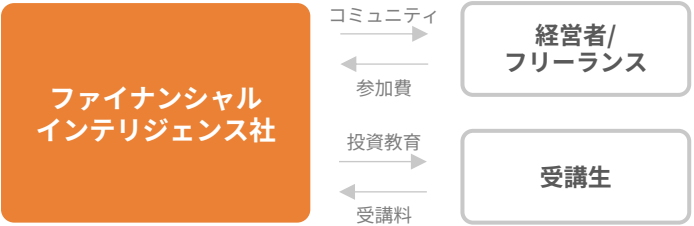
2 資産形成支援事業 | 子会社各社の概要

資産形成支援事業はM&Aによってグループインした100%子会社の3社によって形成。



ファイナンシャル インテリジェンス社

● ビジネスモデル



● POINT

個人向けに実践的な投資スキルを習得できる講座を提供。対面およびオンラインのセミナーや動画視聴を通してFX投資や株式投資を学べる。テクニカル分析中心。



Financial Free College社

● ビジネスモデル



● POINT

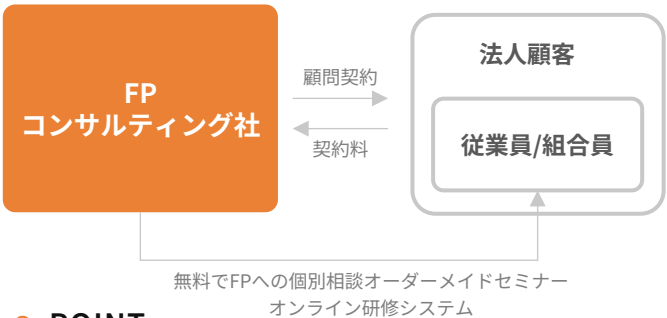
個人を対象に株式投資に必要な知識や分析手法を学べる教育講座を提供。対面およびオンラインセミナー、動画視聴を組み合わせ、企業のファンダメンタルズ分析を中心に実践的な学習機会を提供している。

受講料を頂いてから、長期にわたる講座を提供するため、受注が先行するビジネスモデルである。



FPコンサルティング社

● ビジネスモデル



● POINT

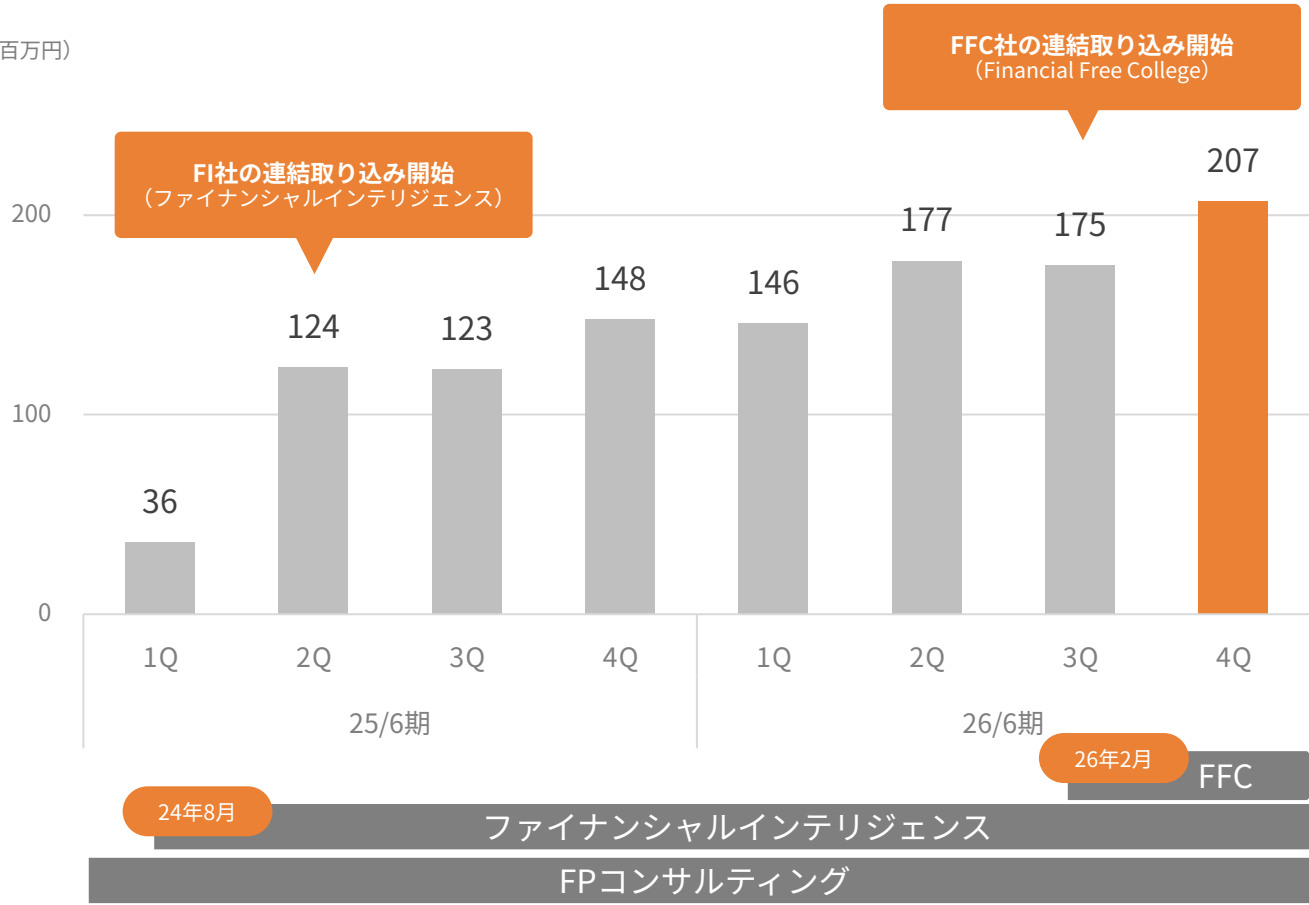
企業と顧問契約を結んだ上で、その職員や会員にサービスを提供するBtoBtoE型モデル。専門家ネットワークを活かした金融教育や個別相談を通じて、企業と個人の双方に価値を提供する事業。

2 資産形成支援事業 | 主要KPI

資産形成支援事業は、FFC社のグループジョインにより**業績拡大トレンドを継続**。
 全体売上の**36.8%まで成長**。FI社、FPコンサルティング社も順調な業績推移が続く。

売上高（四半期推移）

(百万円)

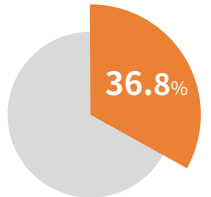


26/6期 通期実績 (25年7月-26年6月)

売上高

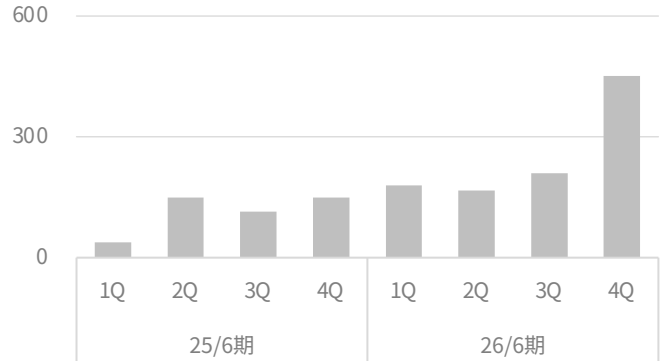
707 百万円

全体の売上高
に対する割合



受注高（先行KPI）

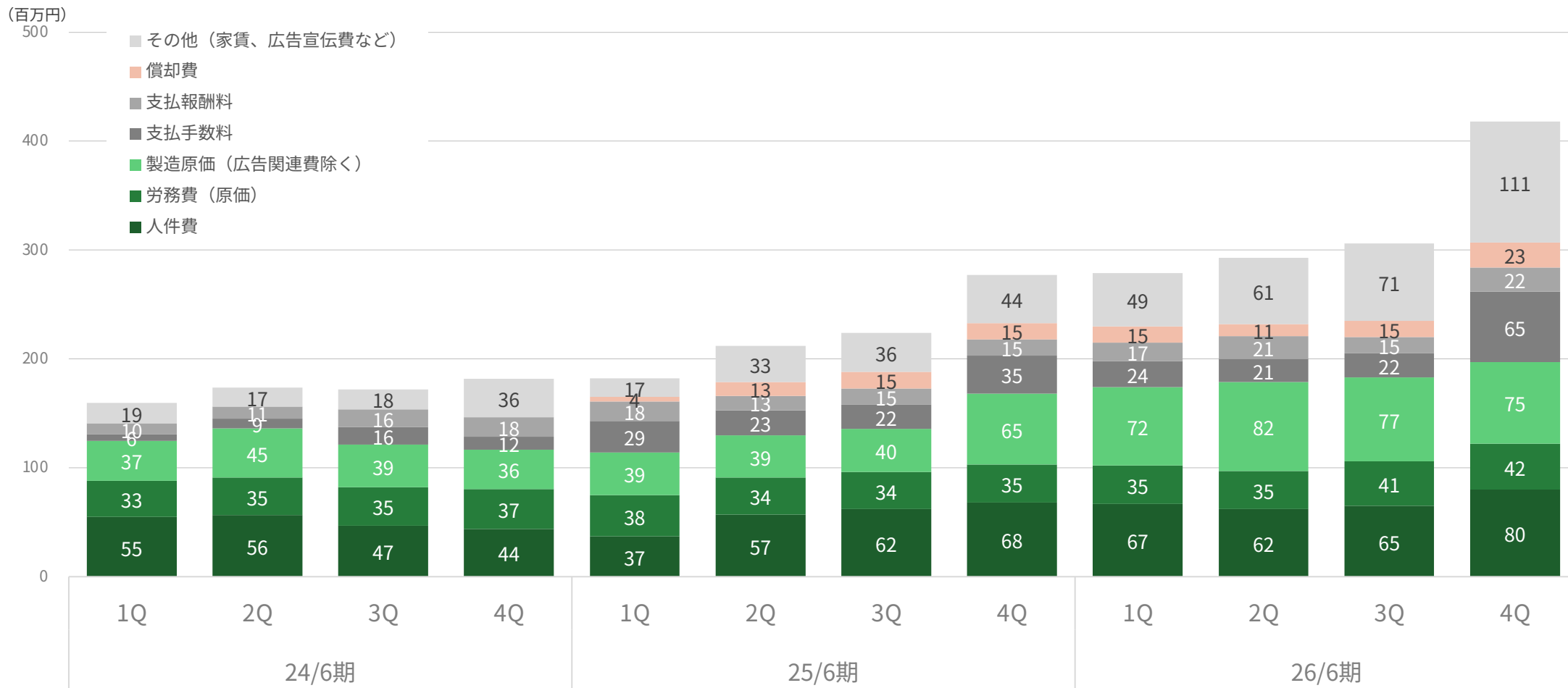
(百万円)



全体 | 固定費（広告関連費を除く原価および販管費）の四半期推移



新たにグループジョインしたFFC社のコスト構造が取り込まれたことから、支払手数料やその他経費などが増加。資金調達に伴う費用など、一過性のコストは20百万円程度含まれる。



04

27/6期 通期計画



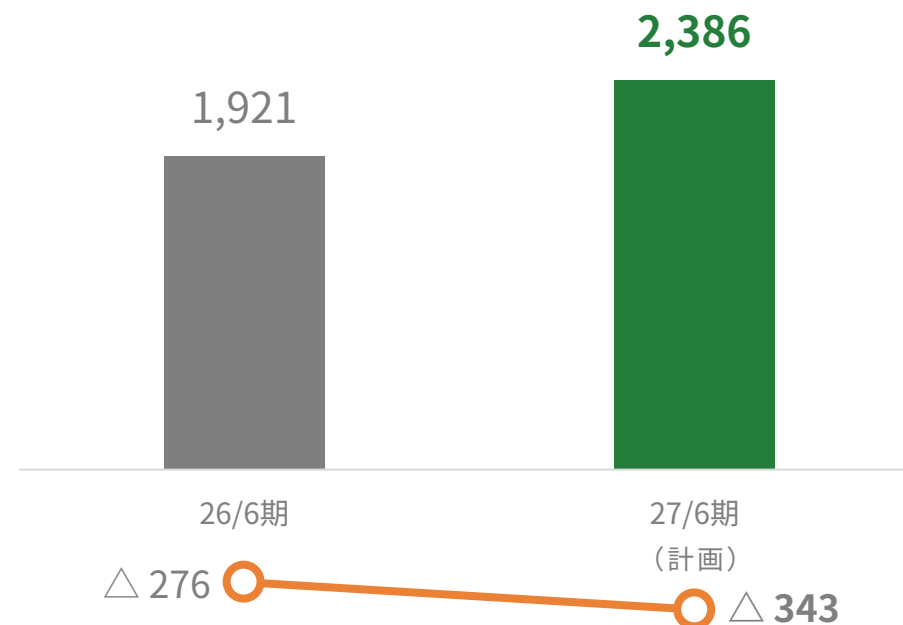
27/6期 通期計画

M&A戦略による資産形成支援事業が牽引し、売上高は**24.2%の増収**を見込む。
営業利益については、成長に向けた**先行投資を積極化**することから、減益となる見通し。

	26/6期 通期実績	27/6期	
		通期計画	YoY
売上高	1,921	2,386	24.2%
└体験型投資学習事業	1,213	1,097	△9.6%
└資産形成支援事業	707	1,288	82.2%
売上総利益	570	972	70.5%
EBITDA	△210	△271	—
営業利益	△276	△343	—
営業利益率	—	—	—
経常利益	△273	△348	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△375	△413	—

業績予想については、収益において不確実性が高い新規事業等は見込まない一方、費用については最大限発生する前提としております。

■ 売上高 ● 営業利益
(百万円)



株主還元方針

中長期的な企業価値向上が株主価値の最大化に繋がると考え、成長投資を優先する観点から、無配を予定しております。

05

業績および主要KPIの推移 (Fact Book)



損益計算書および主要KPIの推移

(百万円)	24/6期 通期	25/6期 通期	25/6期 四半期推移				26/6期 四半期推移			
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	1,957	2,006	327	466	614	599	516	491	442	470
└ 体験型投資学習事業	—	1,573	291	343	491	451	369	313	266	263
└ 資産形成支援事業	—	433	36	124	123	148	146	177	175	207
売上総利益	622	709	58	173	251	238	160	161	108	139
売上総利益率	31.8%	35.3%	17.8%	37.2%	40.9%	37.9%	31.1%	32.8%	24.5%	29.7%
EBITDA	243	173	△47	42	110	68	2	△6	△66	△139
営業利益・損失 (△)	231	123	△51	28	97	66	△13	△18	△82	△162
営業利益率	11.8%	6.1%	—	6.1%	15.5%	11.0%	—	—	—	—
経常利益・損失 (△)	231	125	△49	27	97	50	△11	△18	△80	△144
当期純利益・損失 (△)	156	32	△49	31	61	11	△41	△27	△55	△250
投資デビュー支援数	65,132	37,753	8,795	7,585	10,770	10,603	8,892	8,973	10,950	8,833
平均報酬単価	26,831	38,323	32,570	41,049	43,012	37,263	38,774	33,305	23,227	29,342

貸借対照表およびキャッシュフロー計算書の推移

(百万円)	24/6 通期	25/6 通期	26/6期（連結）			
			1Q	2Q	3Q	4Q
資産合計	1,850	1,821	1,803	1,737	2,051	2,017
流動資産	1,685	1,463	1,477	1,385	1,351	1,475
現預金	1,490	1,185	1,206	1,177	1,003	1,090
売掛金	150	201	207	136	204	174
その他	44	76	65	71	143	210
固定資産	164	357	106	352	699	542
有形固定資産	40	37	38	36	35	2
無形固定資産	38	253	224	214	524	377
投資その他の資産	86	65	63	100	139	161
負債合計	377	390	444	398	761	971
流動負債	289	311	368	356	721	934
買掛金	68	88	92	65	79	61
短期有利子負債	10	10	10	10	310	310
その他	211	213	265	280	332	562
固定負債	88	78	76	42	39	37
長期有利子負債	50	40	38	35	33	30
その他	37	37	38	6	6	6
純資産計	1,472	1,430	1,359	1,339	1,290	1,046

(百万円)	24/6 通期	25/6 通期	26/6 通期
営業CF	168	△6	△45
投資CF	△74	△215	△329
財務CF	658	△82	280
現金同等物の増減額	753	△304	△94
現金同等物の期末残高	1,490	1,185	1,090

- 本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な統計等第三者情報についての正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。
- 発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。
- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化やお客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。
- なお、「事業計画及び成長可能性に関する事項」の資料アップデートは、2026年9月頃を目途に実施する予定です。